



三宮 十五郎 議員
日本共産党弥富市議団

問 医療と介護よく分かる支援を

答 案内など周知に努める

問 介護3以上の認定を受けている人が543人いるが、障がい者手帳を持っている人は257人。介護2から要支援1の人は60%が障がい者手帳を持っていない。

そのため保険医療の無料制度や在宅の人は市の障がい者手当、在宅で特に重い介護が必要な人は、国からの特別な手当が出る人もいるが、そうした制度や支援を受けるための方法が知らされていない。

市民に分かりやすい案内を。

答 **民生部長** 障がい者手帳を持っている方を除き、自立度判定基準に適合する方に、障がい者控除認定証を交付している。
障がい者手帳の取得の可能性のある方には、障がい者控除認定証発送時に、案内などを同封し周知に努める。

【弥富市の介護と障がい者支援】

(人)

年度	介護認定者	内介護3以上	内障がい者手帳なし	特養等入所	※特別障がい者手当受給者	内介護2以下	内障がい者手帳なし
20	1,226	459		189.3	35.3	767	
26	1,647	526	278	248.5	23.8	1,121	640
27	1,724	542	287	266.0	25.1	1,182	679
28	1,665	543	286	271.6	28.7	1,112	664

※国制度 20歳以上で在宅の重度障がい者、相当の介護が必要な人 月額 33,470円～26,830円
28年度弥富市 65歳以上人口 11,127人 高齢化率 25.1% (三宮議員調べ)

問 八穂クリーンセンター
水銀対策は

答 安全な
操業に努める

問 今後15年間、使用するため50億円をかけた大規模改修が計画されているが、水銀に関する水俣条約が国際条約として採択され施行されることになった。

市民の健康や地域の安全と安心を守るため、排ガス中の水銀を常時測定できる機器を早急に設置すべきです。

答 **市長** 排ガス規制は大幅に規定の数値を下回っており、安全と言える。水銀に対して、自動測定装置は設置していないが、その対策として原因となる廃蛍

光管・水銀体温計・ボタン電池の回収を実施している。
問 資源や環境対策としてゴミの発生抑制、再利用を優先的に取り組むことが定められている。家庭用ゴミを1日につき1人当たり500グラム以下の目標に向け、市の努力を求めます。
答 **民生部長** 循環型社会を目指す上で、市民の関心と行動力が大切。啓発や説明の機会に、ごみの減量が地球環境の保全につながることを啓発していく。



▶八穂クリーンセンター (鍋田町)